

平成30年度学校評価まとめ

前年度比↑

前年度比↓

I のびやかに学ぶ子(確かな学力) ①			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
わかる授業の実践	後期 5	5	少人数であることを生かして良い実践がなされているので、基礎的基本的な学習がきちんととできている。また、これまで同様、ICTの活用などによって、分かりやすい授業になっている。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な児童の意識調査に基づく実態把握 汎用的授業スタイルの確立(見通し・対話・振り返り) 研究研修の定期的な振り返りと情報交換により具体的に実践する 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童の満足度(アンケートによるプラス評価の割合)	授業展開の共有(教師と児童)	「ねらい」と「ゴール」を明確にした授業の実践	児童	5	5
			保護者		5
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】

○児童評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
学校の授業は分かりやすく楽しいですか。	はい26人(67%)	だいたい13人(33%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [100%]
2つか3つの文で、自分の考えを伝えたり、学習や活動の振り返りをしたりしていますか。	はい32人(82%)	だいたい6人(15%)	あまり0人(0%)	いいえ1人(3%)	97% [93%]
友達といっしょに学習することのよさや、学習してよかったなど感じるときはありますか。	はい34人(87%)	だいたい5人(13%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [95%]

○保護者評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
学校では楽しい授業わかる授業をめざしていますがお子さんの話や授業参観からどう感じますか。	はい15人(50%)	だいたい14人(47%)	あまり1人(3%)	いいえ0人(0%)	97% [95%]

○教職員評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
整合性のある課題とゴールを明示している。	はい2人(25%)	だいたい6人(75%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [100%]
課題やめあてとのつながりで「まとめ」を考えている。	はい4人(50%)	だいたい4人(50%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [100%]

I のびやかに学ぶ子(確かな学力) ②			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
子どもが主体の学習	後期 4	4	限られた時間の中で「振り返り」まで進めるのは大変だと思うが、取り組みを継続し、蓄積していくことによって、徐々に身に付いていくのではないかと。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学級づくり 「一人で」「ペアやグループで」「みんなで」という考える場面をねらいに応じて設定 思考の流れが見えるノート作りの指導 学び合う姿の具現化 視点を明確にした振り返り活動の指導 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
・児童の満足感「主体的に学ぶ・共に学ぶ楽しさ」の意識 ・教員「対話的な追究活動」の指導の実際	子どもの発言をいかした児童主体の授業展開 学び合う姿の具現化 関わる場面の意図的設定	見通しの工夫 追究活動のねらいの視覚化・明確化 視点を明確にした振り返り ICT機器の活用	児童	5	5
			保護者		5
			教職員	4	3

【評価データ(後期12月)】

○児童評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができましたか。	はい35人(90%)	だいたい3人(7%)	あまり1人(3%)	いいえ0人(0%)	97% [98%]
自分がどんなことを考え、どんな学習をしたかが分かるノートになっていますか。	はい33人(85%)	だいたい6人(15%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [100%]

○保護者評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
学校では子供主体の授業、考えを出し合い学び合う授業をめざしていますがどう感じますか。	はい13人(43%)	だいたい17人(57%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100% [95%]

○教職員評価

質問	はい	だいたい	あまり	いいえ	達成率
自力思考、ペアやグループでの思考、集団思考のねらいを明確化、視覚化することにより、主体的な対	はい1人(12%)	だいたい6人(75%)	あまり1人(13%)	いいえ0人(0%)	87% [67%]
あらかじめ「振り返りの視点」を明示しておき、振り返りに取り組んでいる。(2~3つの文で)	はい2人(25%)	だいたい4人(50%)	あまり2人(25%)	いいえ0人(0%)	75% [67%]

I のびやかに学ぶ子(確かな学力) ③			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
読書習慣の定着	後期 2	3	スマホ、タブレットで情報を読む時代だからこそ、学校では、紙ベースの図書に触れる時間を大切にしてほしい。学校での読書は良くできているので、「家読の例」「新聞」など、家庭での習慣づけを工夫する必要があると思う。それでも、以前に比べると、読書に対する関心が高くなったように感じる。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書時間の確保と子どもの実態に応じた読書指導 ・学習委員会の活用(読書カードと表彰、呼びかけ、読み聞かせや集会) ・図書支援員、ボランティアと連携した環境整備、おはなしコンサートの継続 ・家庭への情報提供と啓発活動、「家読(うちどく)」への取り組みと学校報等による紹介 		

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
子ども・保護者・教員「すすんで読書」の実際	読書意欲の充実と時間確保 家庭での読書習慣の向上、啓発活動	朝読書、ボランティア等による読書環境整備 委員会活動の活性化 うちどくカードの取り組み	児童	3	3
			保護者		1
			教職員	5	4

【評価データ(後期12月)】		達成率		
○児童評価				
学校で読書に親しんでいますか。(昨年度は「進んで読書をしていますか。」)		[前年度]		
はい36人(92%)	だいたい2人(5%)	あまり0人(0%)	いいえ1人(3%)	97%
		[98%]		
家で読書に親しんでいますか。				
はい19人(49%)	だいたい9人(23%)	あまり5人(13%)	いいえ6人(15%)	72%
		[76%]		
○保護者評価				
お子さんの様子や学校の話などから、お子さんは学校で進んで読書をしていると思いますか。				
はい10人(33%)	だいたい12人(40%)	あまり7人(23%)	いいえ1人(3%)	73%
		[66%]		
お子さんは、ご家庭で読書をしていると思いますか。				
はい9人(30%)	だいたい6人(20%)	あまり11人(37%)	いいえ4人(13%)	50%
		[46%]		
○教職員評価				
朝読書の時間の設定により、読書週間が定着してきている。				
はい0人(0%)	だいたい7人(100%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100%
		[100%]		
学年毎の必読書の選定が、読書活動の充実に結び付いている。				
はい0人(0%)	だいたい7人(100%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100%
		[100%]		
読書状況を定期的にチェックすることにより、読書活動を充実させるための取組に結び付いている。				
はい0人(0%)	だいたい5人(71%)	あまり2人(29%)	いいえ0人(0%)	71%
		[100%]		

I のびやかに学ぶ子(確かな学力) ④			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
家庭学習の習慣化と内容の充実	後期 4	4	自主性という面では個人差はあると思うが、家庭学習の習慣は身につけてきていると感じる。小さい頃からの習慣付け、動機付けが大切だと思う。保護者の表が低くなっているのは、「もう少しできるはずだ。」という「親の期待」がこめられているのではないか。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートの日常的なチェックとコメント ・家庭学習の手引き等の活用によるノートづくりや学習内容の定期的具体的な指導 ・家庭学習コーナー設置、家庭学習内容のモデル紹介(ノートの展示や掲示) ・家庭への協力依頼(見取り、声かけ) 		

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童の意識と取り組みの実際(習慣化と内容)	学年に応じた質的向上	家庭学習の手引きの発行、モデルの掲示や展示による情報交換と質の向上	児童	5	5
			保護者		3
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】		達成率		
○児童評価				
毎日、宿題や家庭学習をやっていますか。(学年×10+10)		[前年度]		
はい26人(67%)	だいたい12人(31%)	あまり0人(0%)	いいえ1人(3%)	97%
		[100%]		
○保護者評価				
お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。				
はい13人(43%)	だいたい12人(40%)	あまり5人(17%)	いいえ0人(0%)	83%
		[90%]		
○教職員評価				
家庭学習の手引きが、学習の仕方の指導に役立っている。				
(昨年は、「家庭学習の習慣が身につくような手立てを講じていますか。1)				
はい0人(0%)	だいたい6人(100%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100%
		[100%]		
家庭学習ノートの紹介や全校家庭学習コーナーの設置が、家庭学習の定着や充実につながっている。				
はい2人(29%)	だいたい5人(71%)	あまり0人(0%)	いいえ0人(0%)	100%
		[100%]		

Ⅱ さわやかに行動する子(豊かな心) ①				
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント	
あいさつ・コミュニケーション	後期	5	5	学校外でも良くあいさつをしてくれている。「あいさつ運動」を継続し、「気持ちのよいあいさつ」、「自分から進んでするあいさつ」など、あいさつのよさがより実感できるような取り組みにしていってほしい。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会主体の取組と家庭への啓発活動 ・児童会によるあいさつロードの設定やあいさつ運動、呼びかけ(おはよう&さようなら、感謝の気持ちをこめて) ・家庭や地域での日常的なあいさつ(おはよう・おやすみ・いただきます等)の啓蒙 			

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童同士・家庭や地域・職員とのあいさつの実際	家庭や地域での実践をふくめた、明るいあいさつや返事の習慣化	児童会を主体としたあいさつ運動 地域や家庭と連動したあいさつ運動	児童	5	5
			保護者		5
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価	自分から進んで、家族・地域の人・友達・先生方に気持ちのよいあいさつをすることができましたか。 はい37人(95%) だいたい2人(5%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)	[前年度] 100% [98%]
○保護者評価	お子さんはすすんで明るいあいさつをしていますか。 はい9人(30%) だいたい20人(67%) あまり1人(3%) いいえ0人(0%)	97% [97%]
○教職員評価	笑顔で明るくあいさつをしたり、きはきはきと返事をしたりすることができるような働きかけをしていますか。 はい4人(40%) だいたい6人(60%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)	100% [100%]



Ⅱ さわやかに行動する子(豊かな心) ②			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
自他の良さを認め合う学級・学校	後期 5	5	お互いの顔がよく見え、上下の学年の仲が良いのは、少人数の学校のよさだと思う。お互いのよさを認め合い、良い人間関係を築いていることがうかがえる。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりやよさが認められる機会の意図的設定(学級で・全校集会で・おたよりで) ・自分のよさ、ともだちのがんばりをとらえる力の伸長 ・互いを認め合い、互いに支え合うことのできる学級づくり ・学校生活のあらゆる場面あらゆる機会を捉えてよさを紹介し、賞揚する 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童の意識・満足度(アンケートによるプラス評価の割合)	一人一人に寄り添った声かけよさをとらえる視点の育成	「個と集団の成長」を見いだせるような場の設定	児童	5	5
			保護者		5
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 「何でも話せる」「励まし合える」「ゆるせる」など、友達と認め合ったり助け合ったりして、楽しく過ごすことができましたか。 はい37人(95%) だいたい1人(2%) あまり1人(3%) いいえ0人(0%)		[前年度] 97% [100%]
○保護者評価 一人一人が大事にされ認め合う学校・学級づくりがなされていると思いますか。 はい17人(57%) だいたい12人(40%) あまり1人(3%) いいえ0人(0%)		97% [88%]
○教職員評価 自分や自分たちの言動を振り返り、「次の機会にはどうすればいいか」などを考える場を設定してきましたか。 はい3人(38%) だいたい5人(62%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]
自分のがんばりを振り返り、「次のめあて」を意識させるような場を設定してきましたか。 はい4人(50%) だいたい4人(50%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]

Ⅱ さわやかに行動する子(豊かな心) ③			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
児童理解・生徒指導・問題への早期対応	後期 4	4	児童、保護者、先生方が、概ね良い人間関係を築けていることがうかがえる。しかし、保護者の1割が対応不足を感じているのは残念な点である。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己決定」「自己有用感」「共感的人間関係」を基盤とした生徒指導の実践 ・何でも話し合える認め合える学級経営の充実 ・児童を語る会の定期開催(情報共有) ・保護者や児童の困り感、相談事への真摯な対応、細やかな連絡連携 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童保護者の意識、相談への対応等児童の実態把握と個別指導の実際	問題行動等の予防と迅速で適切な対応 保護者との連絡・連携	いじめ調査 教育相談 児童を語る会	児童	5	5
			保護者		4
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 先生はなにか困ったことが起きた時相談に乗ったり解決しようとしていたりしてくれますか。 はい33人(84%) だいたい5人(13%) あまり1人(3%) いいえ0人(0%)		[前年度] 97% [95%]
○保護者評価 学校では不登校・いじめ・問題行動等の予防やすばやい対応に努めていると思いますか。 はい43人(43%) だいたい14人(47%) あまり3人(10%) いいえ0人(0%)		90% [88%]
○教職員評価 小さな変化を見逃さず人間関係を把握、問題行動等の予防や迅速な対応に努めていますか。 はい3人(33%) だいたい6人(67%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]

Ⅲ しなやかに育つ子(健やかな心と体) ①				
評価項目		自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
根気強さ・粘り強さ	後期	4	4	保護者の目は厳しくなりがちで、「もう少しがんばらせたい」という思いが表れているのではないかと。「粘り強さ」を育成することにより、学力向上等、良い影響が期待できると思う。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「見通し」と「振り返り」による活動の推進(学校行事、諸活動) ・自分なりのめあてをもち努力する場の設定、縦割り活動の充実(係や当番活動、スマイル班活動、縦割り清掃、ランランタイム、全校テスト…) ・家庭での「家族としての一仕事」の啓発(長期休業を中心に) 			

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80～89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65～79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童の自己評価と実際の姿	「めあて」と「振り返り」の共有 「めあて」を意識した活動 「めあて」に沿った「振り返り」「次につなぐ意識」の育成	児童による「めあて・見通し」と「振り返り」を取り入れた学校行事、児童会活動、スマイル班活動	児童	5	5
			保護者		3
			教職員		5

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 勉強やそうじ、係活動や委員会活動の仕事に、最後まで責任をもって取り組むことができましたか。 はい36人(76%) だいたい3人(17%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		[前年度] 100% [93%]
○保護者評価 お子さんは勉強やお手伝いなど役割を最後まで投げ出さずに取り組もうとしていますか。 はい9人(30%) だいたい15人(50%) あまり6人(20%) いいえ0人(0%)		80% [80%]
○教職員評価 日々の学習、そうじや当番、係の仕事など、最後まで投げ出さず成し遂げることの大切さを意識させる働きかけは充分でしたか はい5人(56%) だいたい4人(44%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]

Ⅲ しなやかに育つ子(健やかな心と体) ②				
評価項目		自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
たくましさ・向上心	後期	4	4	「夢カード」の取組は、とても良いことだと思う。「夢に向かうための目標をクリアしていく喜び」を感じさせてほしい。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の活動の推進(児童による「めあて・見通し」と「振り返り」を取り入れた学校行事や諸活動の推進) ・「夢に近づく自分」を意識化させるための「夢カード」「キャリアノート」の活用 ・子どもと共に行動し、「子どもの変容」に学びながら、励まし賞賛する日常活動の継続 			

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80～89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65～79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
児童の意識(アンケートによるプラス評価の割合)と活動に取り組む姿 「夢カード」への記述	具体的な助言とその子にあった励まし、過程を大切にしたいの評価や働きかけ	児童の「めあて・見通し」を共有するための場の設定 「夢カード」を通じた意識付け	児童	5	5
			保護者		3
			教職員	5	5

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 うまいかなかったり、思い通りにいかないことがあったりしても、「めあて」に向かって何度もチャレンジしていますか。 はい38人(97%) だいたい0人(0%) あまり1人(3%) いいえ0人(0%)		[前年度] 95% [95%]
○保護者評価 お子さんは、失敗してもくじけずがんばろう、よりよくなるようとする気持ちが育っていますか。 はい7人(23%) だいたい16人(54%) あまり6人(20%) いいえ1人(3%)		77% [83%]
○教職員評価 失敗をフォローしたり、全体指導したりして、あきらめずにチャレンジする気持ちを高めることができましたか。 はい4人(44%) だいたい5人(56%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]
「夢カード」を通して、「将来の夢や目標」を意識し、「めあて」をもって生活できるように働きかけていますか。 はい2人(29%) だいたい5人(71%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		100% [100%]

Ⅲ しなやかに育つ子(健やかな心と体) ③			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着	後期 3	3	保護者の方では「できている」という認識なので、それほど問題があるとは思わないが、子どもたちの成長の基本となる事柄なので、これからも、声かけと啓発を続けてほしい。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にした指導の継続 ・生活習慣表(中川っこの当たり前)の配布による児童への意識付けと家庭との連携 ・長期休業を中心とした元気満タンチェックカードの工夫・活用 ・学校保健コーナーでの啓発 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
早寝・早起き・朝ご飯の実態(児童・保護者アンケートによるプラス評価の割合)	早寝・早起き・朝ご飯の奨励	生活習慣表の確認・元気満タンチェックカードの活用	児童	5	5
			保護者		4
			教職員	5	3

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 あなたは早寝・早起き・朝ご飯ができていますか。 はい35人(90%) だいたい4人(10%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		[前年度] 100% [96%]
○保護者評価 お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯ができていますか。 はい17人(56%) だいたい11人(37%) あまり2人(7%) いいえ0人(0%)		93% [88%]
○教職員評価 早ね、早起き、朝ご飯等、一人一人の家庭での生活習慣にも目を配り、児童や家庭に働きかけて、意識させることができましたか。 はい1人(14%) だいたい5人(72%) あまり1人(14%) いいえ0人(0%)		86% [100%]

Ⅲ しなやかに育つ子(健やかな心と体) ④			
評価項目	自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
歯・口の健康づくり	後期 3	3	口腔環境はあらゆる面に影響するといわれているので、少し心配である。これも、子どもたちの成長の基本となる事柄なので、これからも、声かけと啓発を続けてほしい。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科医と連携した取り組み ・保健委員会の活動の充実(わっはっ歯集会・元気満タンチェックカードの活用) ・定期的な歯磨き指導と家庭への啓発、連携、わっはっ歯カード 		

評価基準	きわめて良好	5 実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4 実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3 実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2 実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1 実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
むし歯の状況 児童・保護者の意識	歯磨き習慣定着とブラッシング向上のための工夫	健康集会、啓発ポスター等の掲示、そめだし等の歯磨き指導	児童	5	5
			保護者		3
			教職員	5	2

【評価データ(後期12月)】		達成率
○児童評価 食事の後に、きちんと歯をみがいていますか。 はい36人(92%) だいたい3人(8%) あまり0人(0%) いいえ0人(0%)		[前年度] 100% [98%]
○保護者評価 お子さんは、家庭で食事の後に歯をみがいていますか。 はい14人(47%) だいたい12人(40%) あまり4人(13%) いいえ0人(0%)		87% [93%]
○教職員評価 給食後の歯みがき指導や家庭への啓発は充分でしたか。 はい1人(14%) だいたい4人(57%) あまり2人(29%) いいえ0人(0%)		71% [100%]

IV 家庭・地域との連携 ①				
評価項目		自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
情報提供・情報発信	後期	5	5	学校と保護者の連携が、良くとれているように感じている。学校からの情報発信は、大変ご難儀をおかけしているが、その分、充実していると思う。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信、学校報等紙面による情報提供 ・HPやブログの更新(継続) ・メール配信システムの有効活用 			

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
保護者の意識・満足度(アンケートによるプラス評価の割合)	HP更新・ブログ更新 定期的な学年通信、学校報等の発行 メール配信システムの有効活用	学年通信・学校報発行、ホームページやブログの更新、メール配信	児童		
			保護者		5
			教職員		5

【評価データ(後期12月)】

○保護者評価
 学校は、学年通信・学校報・ブログやHP・電話・面談などを通して、子どもたちの学校での様子を伝えたり情報交換をしたりしていると思いますか。 達成率 [前年度] 100% [93%]
 十分21人(70%) おおむね9人(30%) あまり0人(0%) 不十分0人(0%)

○教職員評価
 子どもたちの学校生活について、電話や面談、通信や絵Wン落丁などを通し、てしっかりと伝えたり、適切に対応したりすることができましたか。 達成率 100% [100%]
 はい3人(38%) だいたい5人(62%) あまり0人(0%) 不十分0人(0%)

IV 家庭・地域との連携 ②				
評価項目		自己評価	評議員評価	学校評議員会のコメント
地域の人材活用・関係機関との連携	後期	3	4	最後の1年、地域と共に盛り上げていきたい。また、統合後も、地域の方々活躍できる場があれば良いと強く感じている。
学校の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部コーディネーターや関係機関との連携 ・授業や諸活動のための学習素材の掘り起こしと積極的な人材活用 ・ボランティア人材の確保 			

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80~89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65~79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

評価指標	実践課題	主な取り組み	評価者	前期評価	後期評価
地域人材の活用と関係機関との連携、活動の実際	地域人材・素材の積極活用活動状況の発信と啓発	学校支援地域本部事業、三省タイム、活動の様子の発信	児童		
			保護者		5
			教職員		3

【評価データ(後期12月)】

○保護者評価
 学校は、地域の人材の活用や関係機関との連携がよくなされていると思いますか。 達成率 [前年度] 100%
 十分21人(70%) おおむね9人(30%) あまり0人(0%) 不十分0人(0%)

○教職員評価
 地域の人材の活用や関係機関との連携した活動ができましたか。 達成率 [前年度] 89% [86%]
 はい2人(22%) だいたい6人(67%) あまり1人(11%) いいえ0人(0%)

平成30年度 学校評価一覧と結果概要

仙北市立中川小学校

目標	No	評価項目・評価指標	自己評価	評議員 総合評価	学校評議員コメント	学校の主な改善策
確かな学力 のびやかに 学ぶ子	1	わかる授業の実践 ・児童の満足度(児童アンケート)	5	5	少人数であることを生かして良い実践がなされているので、基礎的基本的な学習がきちんとできています。また、これまで同様、ICTの活用などによって、分かりやすい授業になっている。	・定期的な児童の意識調査に基づく実態把握 ・汎用的授業スタイルの確立(見通し・対話・振り返り) ・研究研修の定期的な振り返りと情報交換による具体的な実践
	2	子どもが主体の授業展開 ・児童の満足感「主体的に学ぶ・共に学ぶ楽しさ」の意識 ・教員「対話的な追究活動」の指導の実際	4	4	限られた時間の中で「振り返り」まで進めるのは大変だと思うが、取り組みを継続し、蓄積していくことによって、徐々に身に付いていくのではないかと。	・安全・安心な学級づくり ・「一人で」「ペアやグループで」「みんなで」という考える場面をねらいに応じて設定 ・思考の流れが見えるノート作りの指導 ・視点を明確にした振り返り活動の指導
	3	読書習慣の定着 子ども・保護者・教員「すすんで読書」の実際	2	3	スマホ、タブレットで情報を読む時代だからこそ、学校では、紙ベースの図書に触れる時間を大切にしてほしい。学校での読書は良くできているので、「家読の例」「新聞」など、家庭での習慣づけを工夫する必要があると思う。それでも、以前に比べると、読書に対する関心が高くなったように感じる。	・朝読書時間の確保と読書指導 ・学習委員会の活用(読書カードと表彰、呼びかけ、読み聞かせや集会) ・図書支援員、ボランティアと連携した環境整備、おはなしコンサートの継続 ・家庭への情報提供と啓発活動、「家読(うちどく)」への取り組み
	4	家庭学習の習慣化と内容の充実 ・児童の意識と取り組みの実際(習慣化と内容)	4	4	自主性という面では個人差はあると思うが、家庭学習の習慣は身につけてきていると感じる。小さい頃からの習慣付け、動機付けが大切だと思う。保護者の表が低くなっているのは、「もう少しできるはずだ。」という「親の期待」がこめられているのではないかと。	・学習ノートのチェックとコメント ・家庭学習の手引き活用によるノートづくりや学習内容の定期的具体的な指導 ・家庭学習コーナー設置、学習内容のモデル紹介(ノートの展示や掲示) ・家庭への協力依頼(見取り、声かけ)
豊かな心 さわやかに 行動する子	5	あいさつ・コミュニケーション ・児童の意識と、児童同士・家庭や地域・職員とのあいさつの実際	5	5	学校外でも良くあいさつをしてくれている。「あいさつ運動」を継続し、「気持ちのよいあいさつ」、「自分から進んでするあいさつ」など、あいさつのよさがより実感できるような取り組みにしていってほしい。	・児童会主体の取組と家庭への啓発活動 ・児童会によるあいさつロードの設定やキラリあいさつ運動、呼びかけ(おはよう&さよなら、感謝の気持ちをこめて) ・家庭での日常的なあいさつの啓発(おはよう・おやすみ・いただきます等)
	6	自他の良さを認め合う学校・学級づくり ・児童の満足度(児童アンケート)	5	5	お互いの顔がよく見え、上下の学年の仲が良いのは、少人数の学校のよさだと思う。お互いのよさを認め合い、良い人間関係を築いていることがうかがえる。	・がんばりやよさが認められる機会の意図的設定(学級で・集会で・おたよりで) ・自分のよさ、ともだちのがんばりをとらえる力の伸長 ・互いを認め合い、互いに支え合うことのできる学級づくり ・学校生活のあらゆる場面あらゆる機会を捉えてよさを紹介し、賞揚する。
	7	児童の理解・生徒指導・問題への早期対応 ・児童保護者の意識、相談への対応や個別指導の実際	4	4	児童、保護者、先生方が、概ね良い人間関係を築けていることがうかがえる。しかし、保護者の1割が対応不足を感じているのは残念な点である。	・「自己決定」「自己有用感」「共感的人間関係」を基盤とした生徒指導の実践 ・何でも話し合える認め合える学級経営の充実 ・児童を語る会の定期開催(情報共有) ・保護者や児童の困り感、相談事への真摯な対応、細やかな連絡連携
健やかな心と体 しなやかに 育つ子	8	根気強さ・粘り強さの育成 ・児童の自己評価と実際の姿	4	4	保護者の目は厳しくなりがちで、「もう少しがんばらせたい」という思いが表れているのではないかと。「粘り強さ」を育成することにより、学力向上等、良い影響が期待できると思う。	・「見通し」と「振り返り」による活動の推進(学校行事、諸活動) ・自分なりのめあてをもち努力する場の設定、縦割り活動の充実(係や当番活動、スマイル班活動、縦割り清掃、ランランタイム、全校テスト…) ・家庭での「家族としての一仕事」の啓発(長期休業を中心に)
	9	たくましさ・向上心の育成 ・児童の意識(児童アンケート)と活動に取り組む姿 ・「夢カード」への記述	4	4	「夢カード」の取組は、とても良いことだと思う。「夢に向かうための目標をクリアしていく喜び」を感じさせてほしい。	・児童主体の活動の推進(児童による「めあて・見通し」と「振り返り」を取り入れた学校行事や諸活動の推進) ・「夢に近づく自分」を意識化させるための「夢カード」「キャリアノート」の活用 ・子どもと共に行動し、「子どもの姿容」に学びながら、励まし賞賛する日常活動の継続
	10	基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着 ・早寝・早起き・朝ご飯の実態(児童・保護者アンケート)	3	3	保護者の方では「できている」という認識なので、それほど問題があるとは思わないが、子どもたちの成長の基本となる事柄なので、これからも、声かけと啓発を続けてほしい。	・家庭との連携を密にした指導の継続 ・生活習慣表(中川っこの当たり前)配布、児童への意識付けと家庭との連携 ・長期休業を中心とした元気満タンチェックカードの工夫・活用 ・学校保健コーナーの掲示による啓発
	11	歯・口の健康づくり ・むし歯の状況 ・児童・保護者の意識	3	3	口腔環境はあらゆる面に影響すると言われているので、少し心配である。これも、子どもたちの成長の基本となる事柄なので、これからも、声かけと啓発を続けてほしい	・学校歯科医と連携した取り組み ・保健委員会活動の充実(わっはっ歯集会・元気満タンチェックカードの活用) ・定期的な歯磨き指導と家庭への啓発、連携
家庭・地域との連携	12	情報提供・発信 ・保護者の満足度(保護者アンケート)と取り組みの実際	5	5	学校と保護者の連携が、良くとれているように感じている。学校からの情報発信は、大変ご難儀をおかけしているが、その分、充実していると思う。	・学級通信、学校報等紙面による情報提供 ・HPやブログの更新(継続) ・メール配信システムの有効活用
	13	地域人材活用・関係機関との連携 ・地域人材の活用と関係機関との連携、活動の実際	3	4	最後の1年、地域と共に盛り上げていきたい。また、統合後も、地域の方々活躍できる場があれば良いと強く感じている。	・地域学校協働本部コーディネーターや関係機関との連携 ・授業や諸活動のための学習素材の掘り起こしと積極的な人材活用 ・ボランティア人材の確保

のびやかな
さわやかな
しなやかな
中川っ子を育てる

評価基準	きわめて良好	5	実施状況は極めてよく意識も高い。数値目標95%以上達成
	良好	4	実施状況はよく意識も高い。数値目標90%以上達成
	おおむね良好	3	実施状況は概ね良好。数値目標80～89%達成
	やや不十分	2	実施状況はやや不十分。数値目標65～79%
	努力を要する	1	実施状況は不十分で努力を要する。数値目標64%以下

◎活動の様子
 <のびやかに学ぶ子>



4・5年 総合



4・5年 総合



1・2年 体育



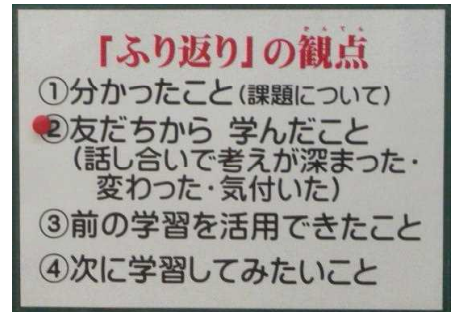
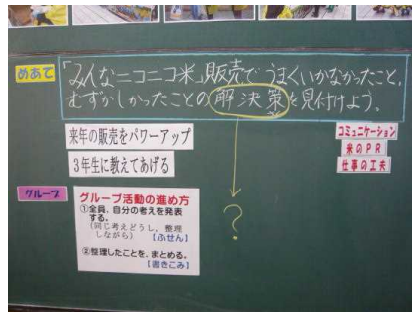
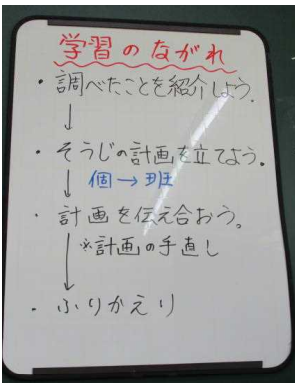
6年 家庭科



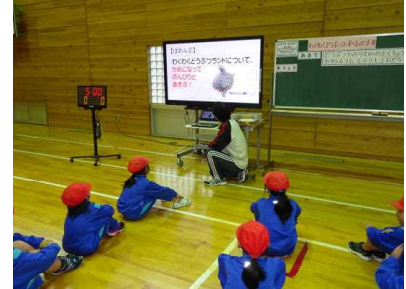
6年 家庭科



3年 総合



あらかじめ「学習の流れ」と「振り返りの視点」を示して
 →「見通し」と「振り返り」、「次へのつながり」



ICTの活用



児童会(学習委員会)主体の読書活動の推進



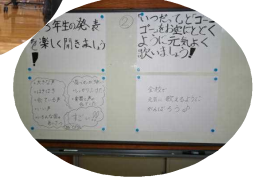
家庭学習コーナー

小中連携あいさつ運動



あいさつ運動

<さわやかに行動する子・しなやかに育つ子>



「見通し」と「振り返り」 (全校音楽集会 & ミニコンサート)



「夢コーナー」でも交流

健康診断(歯科健診) & 歯みがき指導

<地域の教育力を生かして・豊かな体験>



手踊り

民謡

まなび一教室



おはなしコンサート

ニコニコ米の収穫